

岡山県感染症週報 2012 年 第 22 週 (5 月 28 日～6 月 3 日)

【お知らせ】「2011/2012 年シーズン 岡山県インフルエンザのまとめ」を掲載しました。

◆2012 年 第 22 週 (5/28～6/3) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第 21 週 2 類感染症 結核 5 名 (20 代 男 2 名、40 代 男 1 名、50 代 男 1 名、70 代 男 1 名)

第 22 週 2 類感染症 結核 18 名 (10 代 男 1 名、20 代 男 2 名、30 代 男 2 名、40 代 男 1 名、
50 代 男 1 名、60 代 男 3 名、70 代 男 8 名)

5 類感染症 アメーバ赤痢 2 名 (40 代 男 1 名、60 代 男 1 名)

■定点把握感染症の発生状況

○感染性胃腸炎は、前週からわずかに増加しました。

1. 感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、前週からわずかに増加しました (定点あたり 8.06 → 8.89 人)。過去 10 年の同時期に比べ、患者数が多い状態で推移しています。詳しくは [『感染性胃腸炎情報』](#) をご覧ください。
2. 結核は、第 22 週に 18 名の報告がありました。18 名の内訳は、患者 (確定例) 1 名、無症状病原体保有者^{*} 17 名でした。

※結核の無症状病原体保有者とは、咳・たん等の症状がなく、画像検査以外の検査方法にて結核の無症状病原体保有者と診断され、かつ、結核医療を必要とすると認められる者です。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓	★	RSウイルス感染症	→	★
咽頭結膜熱	→	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	★★
感染性胃腸炎	↗	★★★★★	水痘	→	★★
手足口病	→	★	伝染性紅斑	↑	★
突発性発疹	↗	★★★	百日咳	↑	★
ヘルパンギーナ	↓	★	流行性耳下腺炎	↑	★
急性出血性結膜炎	→		流行性角結膜炎	↑	★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	→	
マイコプラズマ肺炎	↘	★	クラミジア肺炎	→	

【記号の説明】

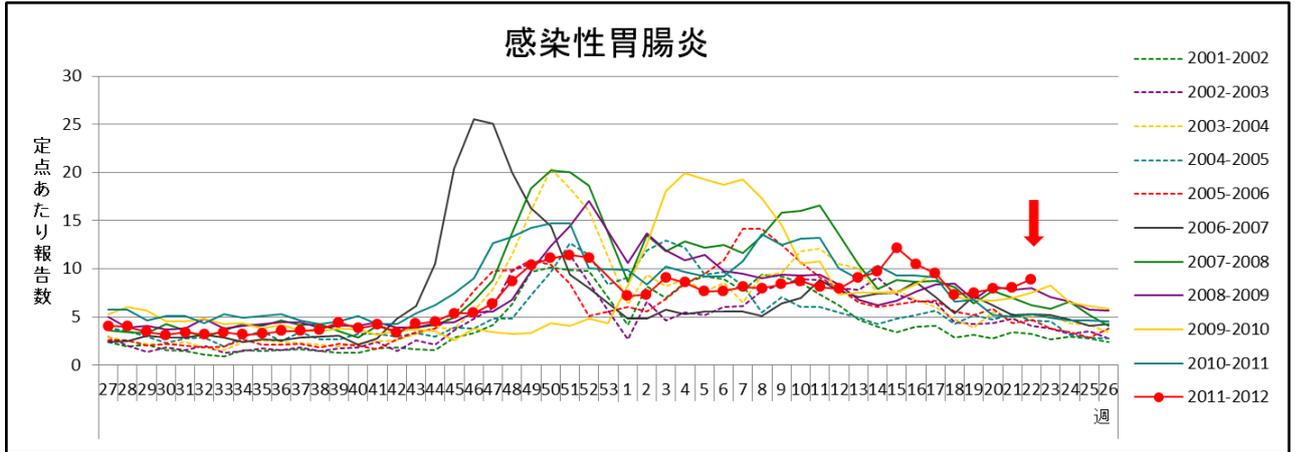
前週からの推移：
 : 2 倍以上の減少
 : 1.1～2 倍未満の減少
 : 1.1 未満の増減
 : 1.1～2 倍未満の増加
 : 2 倍以上の増加

発生状況： 空白：発生なし ★：僅か ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い

※今週の流行状況を過去 5 年間と比較し、5 段階で表示しています。

感染性胃腸炎情報 第 22 週 2012 年 5 月 28 日～6 月 3 日

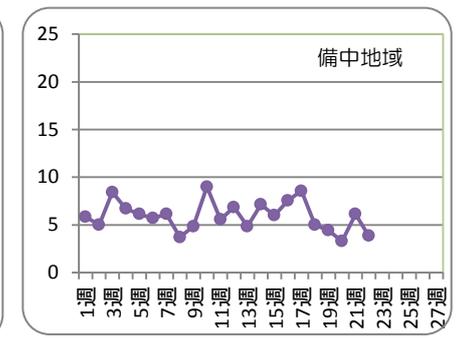
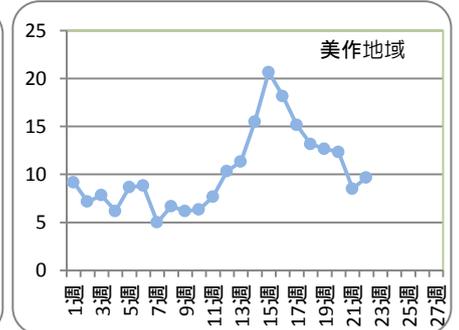
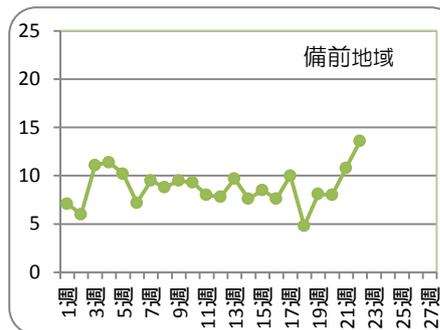
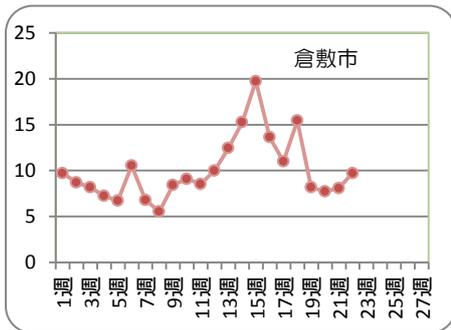
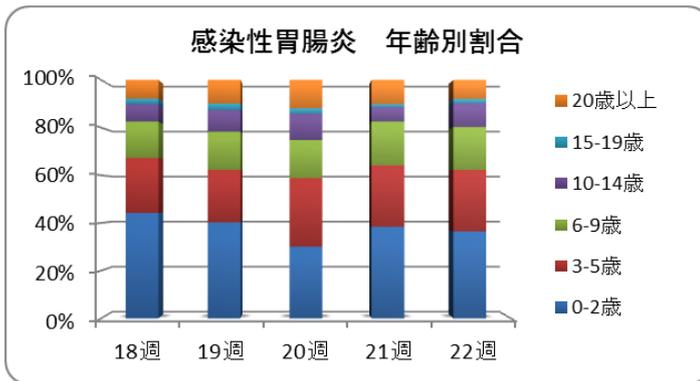
○岡山県内の患者報告数は 480 名（ 定点あたり 8.89 人 ）で、前週よりわずかに増加しました。



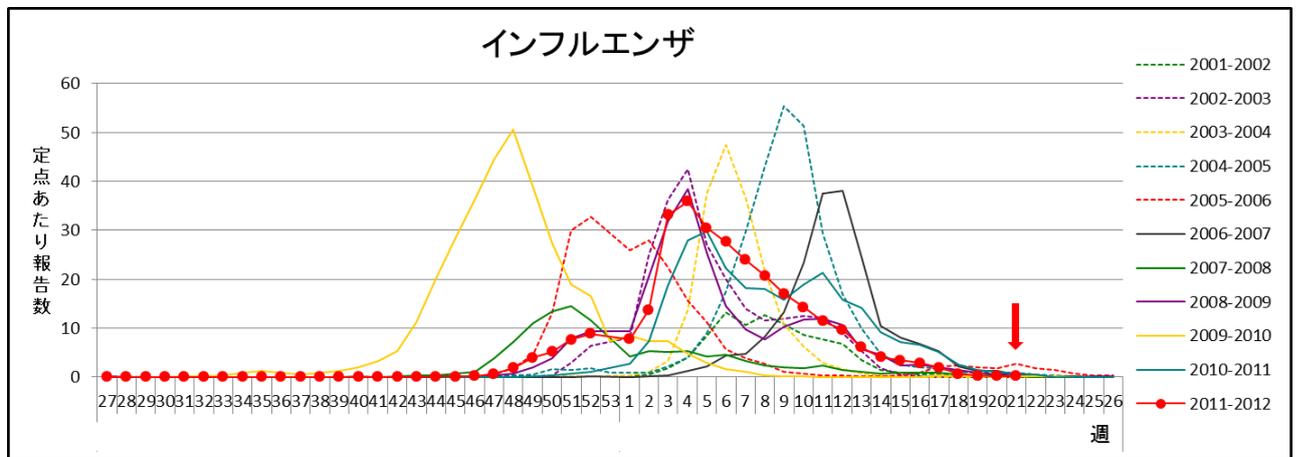
※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、前週よりわずかに増加しました（ 54 定点医療機関 定点あたり 8.06 → 8.89 人）。地域別では備前地域（13.60 人）で報告が多くなり、第 19 週から増加傾向です。年齢別では、0-5 歳の低年齢層に多くみられ、この年齢層が全体の約 62% を占めています。過去 10 年の同時期に比べ、患者の多い状態で推移しています。

全国の感染性胃腸炎ウイルス検出状況はノロウイルスにかわり、ロタウイルスが増加傾向です。また A 群ロタウイルスに加え、C 群ロタウイルスの検出がみられます。例年ロタウイルスは 7 月頃まで検出されますので、手洗いを励行するなど、ひきつづき感染予防に努めましょう。（[国立感染症情報センター ロタウイルス検出内訳](#)）



岡山県 インフルエンザ発生状況 (2011/2012 年シーズンまとめ)

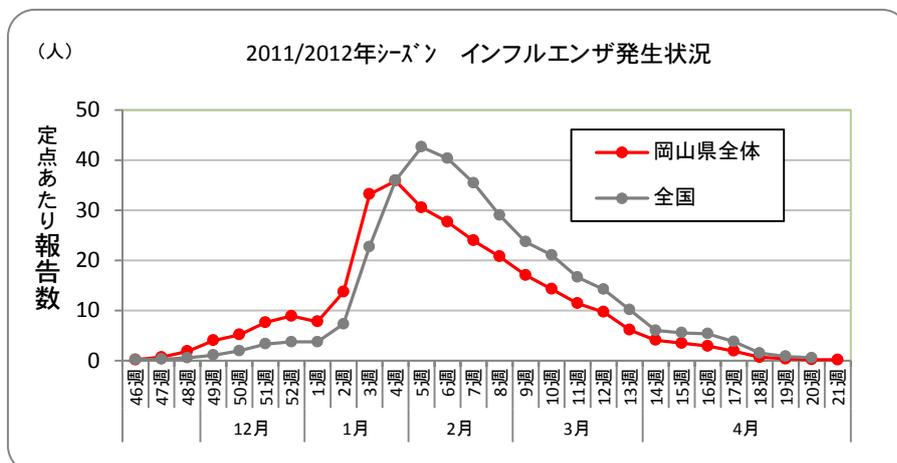


※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

岡山県における 2011 / 2012 年シーズン (2011/ 9/ ~ 2012/ 5/ 27 まで)、県内定点医療機関 84 定点から報告されたインフルエンザの発生動向をまとめました。

岡山県では、2011 年 第 37 週 (9/12~9/18) に今シーズン初めての患者が報告され、第 48 週 (11/28~12/4) に定点あたり患者数が 1.88 人となり、流行に入りました。以降、急速に拡大し、第 50 週 (12/12~12/18) に 5.17 人となり、定点あたり 5 人を越えたため、岡山県は 2011 年 12 月 22 日「インフルエンザ注意報」を発令しました。2012 年 第 3 週 (1/16~1/22) には 33.18 人となったため、1 月 26 日「インフルエンザ警報」を発令し、さらなる注意喚起をはかりました。第 4 週 (1/23~1/29) には 35.88 人となり、今シーズンのピークを迎えました。第 5 週以降、患者数は徐々に減少し、第 18 週 (4/30~5/6) 0.69 人、第 19 週 (5/7~5/13) 0.36 人と、2 週連続して定点あたり患者数が 1 人を下まわりました。そのため、岡山県に発令されていたインフルエンザ注意報は 5 月 17 日をもって解除になり、今シーズンのインフルエンザの流行は終息したと考えられます。

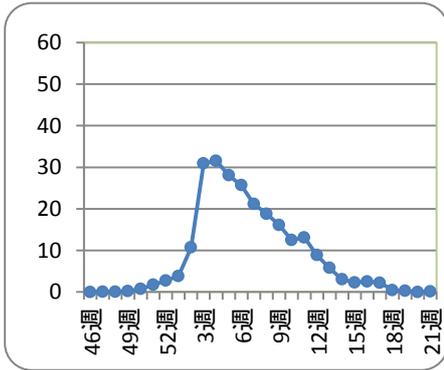
全国では、岡山県とほぼ同様に推移し、2010 年 第 49 週 (12/5~12/11) に 1.11 人となり、流行に入りました。その後、2011 年 第 5 週 (1/30~2/5) に 42.62 人となり、流行のピークを迎えました。以降、患者数は徐々に減少し、第 19 週 (5/7~5/13) には 0.86 人となり、定点あたり患者数が 1 人を下まわりました。



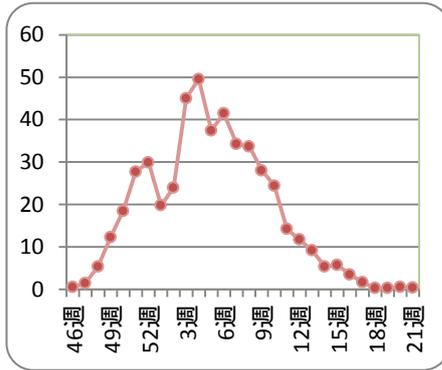
1. 地域別発生状況

地域別発生状況は、2011年第43週（10/24～10/30）頃から、倉敷市・備中地域を中心に患者が報告され始めました。流行初期は倉敷市・備中地域を中心に拡大し、やがて第52週（12/26～2012/1/1）には全地域で流行開始の指標である定点あたり1人を上まわり、県内全域で流行期に入りました。その後患者は増加をつづけ、ピーク時には、特に真庭地域（55.67人）備中地域（49.92人）、倉敷市（49.56人）で患者が多く報告されました。各地域とも、2012年第4～6週（1/23～2/12）をピークに、患者数はわずかに増減を繰り返しながら減少をつづけ、第20週（5/14～5/20）、全ての地域で定点あたり1人を下まわり、今シーズンの流行は終息したと考えられます。

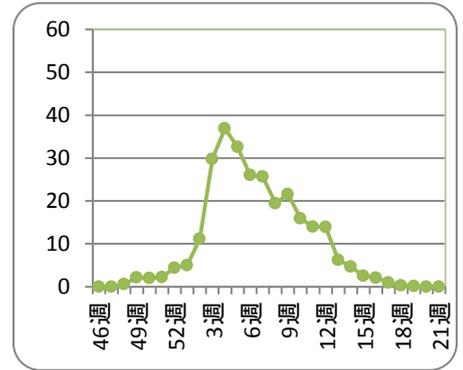
岡山市



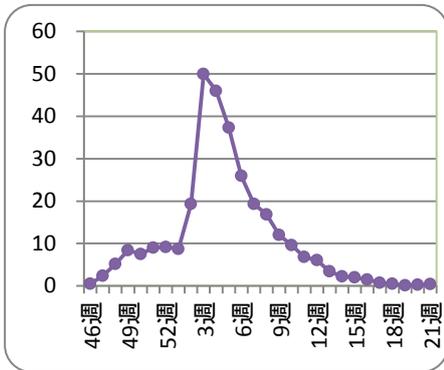
倉敷市



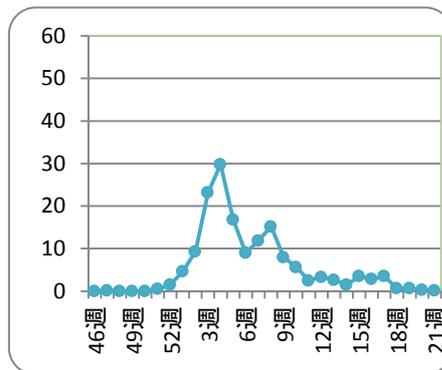
備前地域



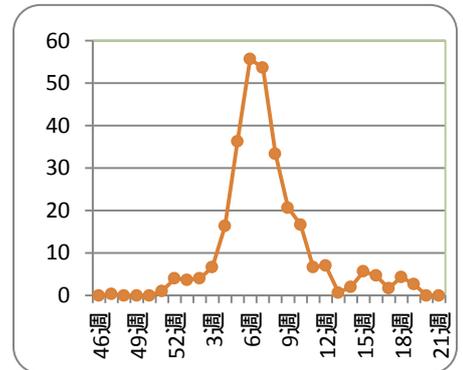
備中地域



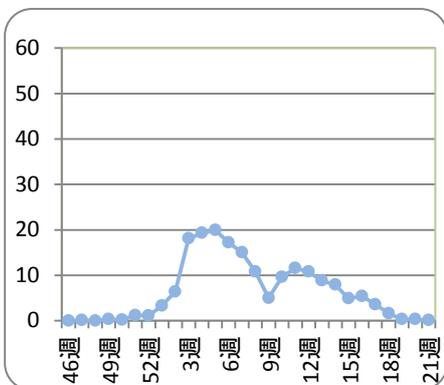
備北地域



真庭地域



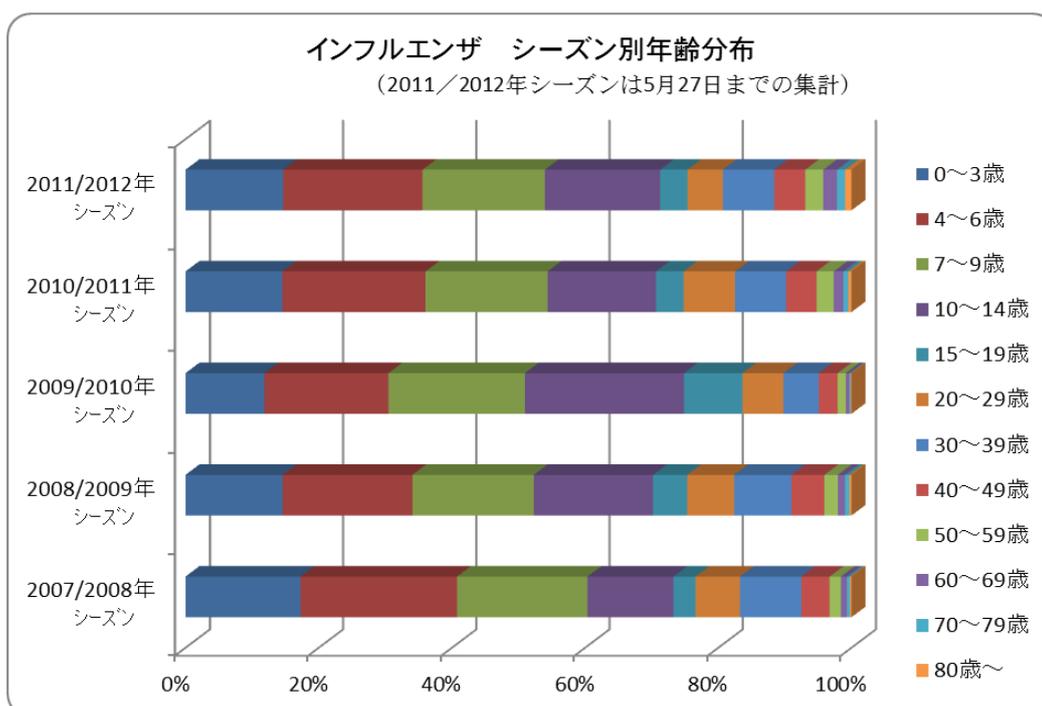
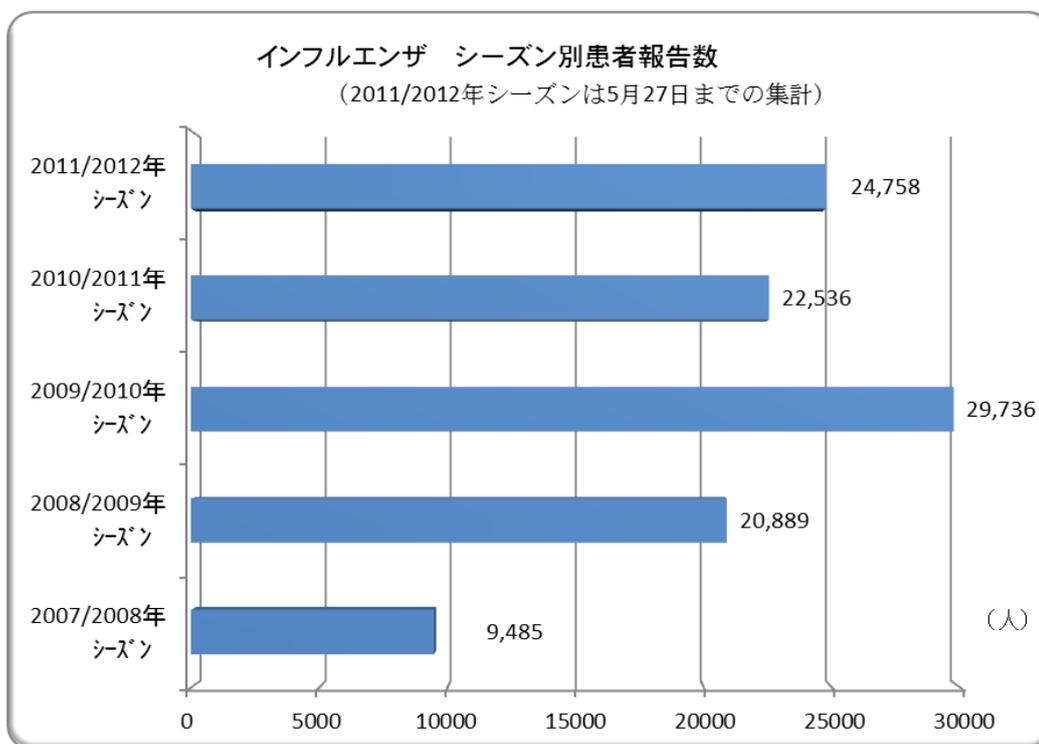
美作地域



2. 年齢別発生状況

2011/2012年シーズン、県内の患者報告数は24,758人となり、過去5年間では新型インフルエンザが猛威をふるった2009/2010年シーズンにつづく、患者発生の多いシーズンとなりました。

年齢分布は昨シーズン同様であり、4～6歳が最も多く(20.9%)、つづいて7～9歳(18.4%)、10～14歳(17.3%)の順であり、幼稚園児、小学生、中学生に該当する年齢層が多くを占めました。



3. インフルエンザウイルス検出状況

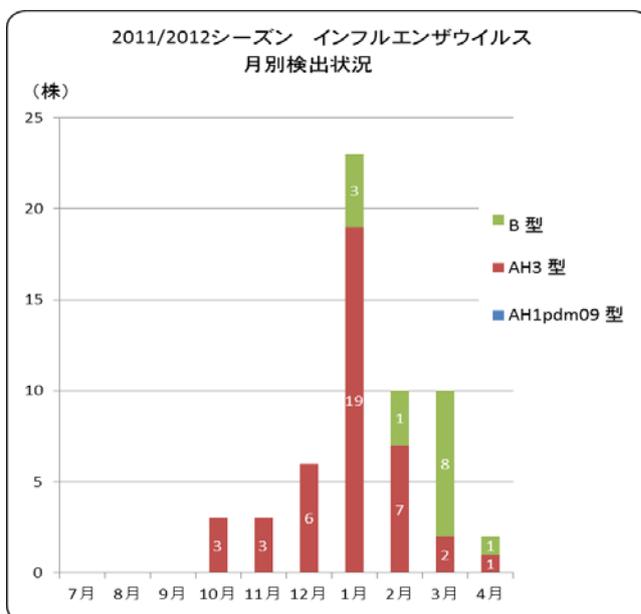
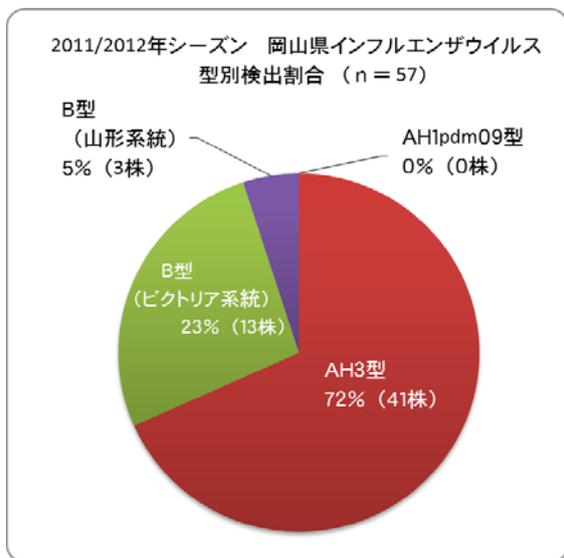
2011/2012年シーズンにおける岡山県環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルス 57 株の検出割合は、AH3 型が最も多く 41 株 (72%)、B 型 16 株 (28%) (B 型のうちビクトリア系統 13 株 (23%)、山形系統 3 株 (5%)) でした。前シーズン、前々シーズンに半数以上を占めた AH1pdm09 型は、検出されませんでした。

月別発生状況は、10 月の発生以降 AH3 型が検出され、12 月、1 月の流行期は AH3 型が主流になりました。また、1 月から B 型が検出されはじめ、1 月、2 月は AH3 型と B 型が混在しました。3 月からは主に B 型が検出されました。今シーズン、AH1pdm09 型は、県内では全く検出されませんでした。

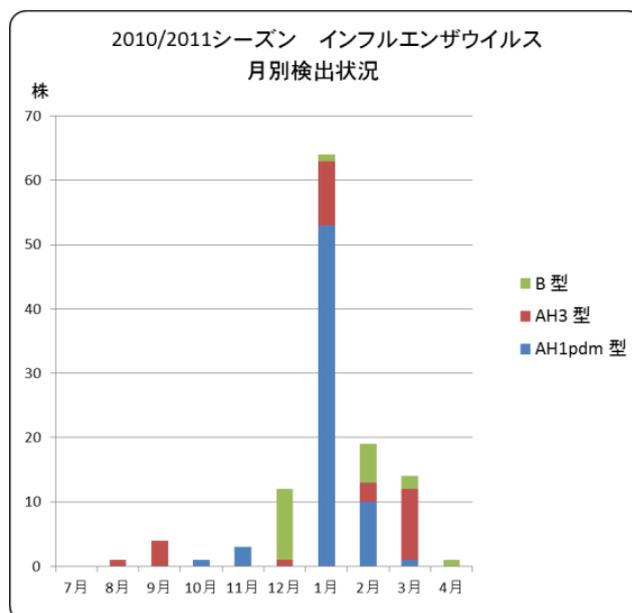
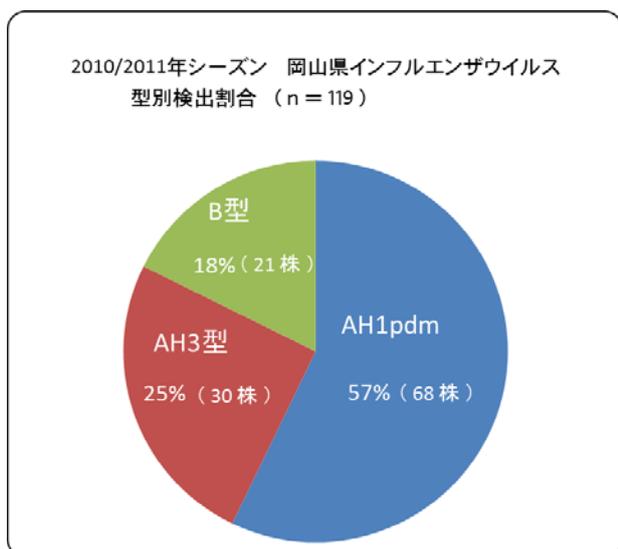
全国でこれまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09 型が 13 株 (0.2%)、AH3 型が 4,784 株 (73%)、B 型はビクトリア系統が 971 株 (14.8%)、山形系統が 487 株 (7.5%)、系統不明が 294 株 (4.5%) 報告されています。月別検出状況は岡山県と同様の傾向であり、また、AH1pdm09 型は全国でも検出がわずかでした。

([インフルエンザウイルス分離検出状況 国立感染症情報センター](#))

【2011/2012 年シーズン】



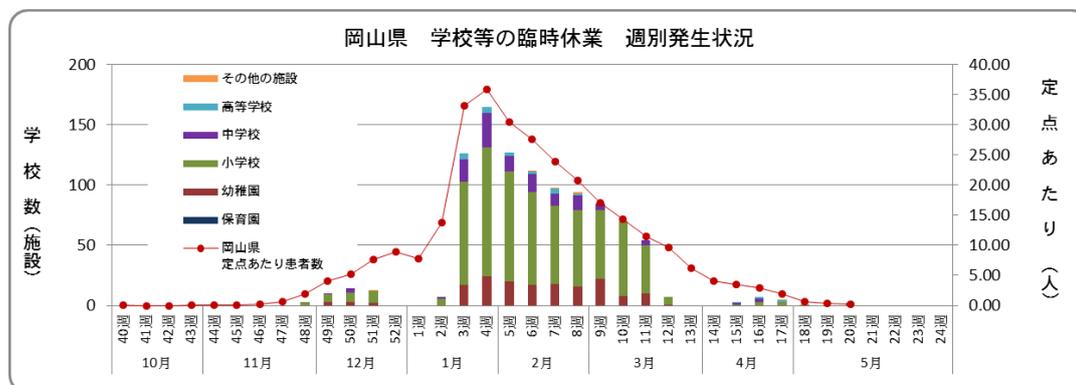
【2010/2011 年シーズン】



4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

今シーズンのインフルエンザとみられる臨時休業は、1,004 施設で、昨シーズン（893 施設）より増加しました。

施設別では、幼稚園 162 施設、小学校 698 施設、中学校 114 施設、高等学校 25 施設、その他 5 施設でした。初発は2011年10月31日で、昨年（11月4日）より早い報告となり、今シーズンのピークには1週間に165 施設の報告がありました。



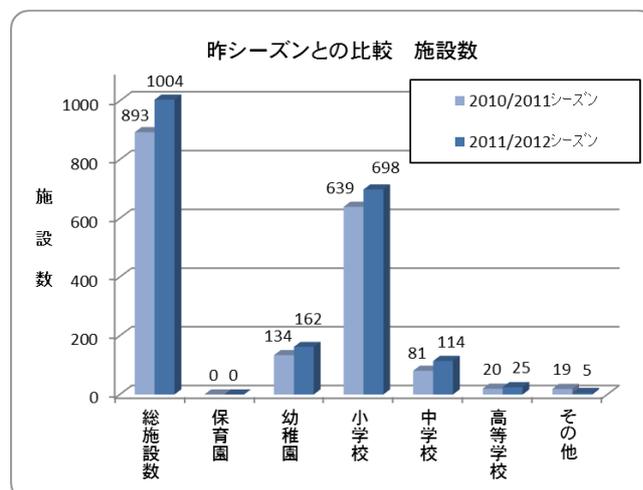
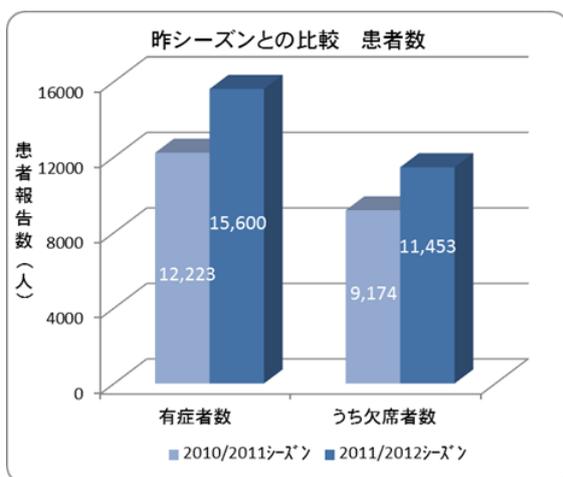
1. 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名	有症者数	うち 欠席者数	施設数合計	休園・休校数	学年閉鎖	学級閉鎖	初発年月日
岡山県全体	15,600	11,453	1,004	42	287	675	H23. 10. 31
岡山市	6,596	4,606	387	4	67	316	H23. 12. 15
倉敷市	3,700	2,767	221	7	39	175	H23. 10. 31
備前地域	1,992	1,614	152	6	68	78	H23. 12. 5
備中地域	1,410	1,184	116	10	46	60	H23. 11. 30
備北地域	313	227	29	3	12	14	H24. 1. 16
真庭地域	537	341	33	7	22	4	H24. 1. 13
美作地域	1,052	714	66	5	33	28	H24. 1. 16

2. 臨時休業施設数の内訳 累計 1,004 施設

(施設)

	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他
施設数	—	162	698	114	25	5



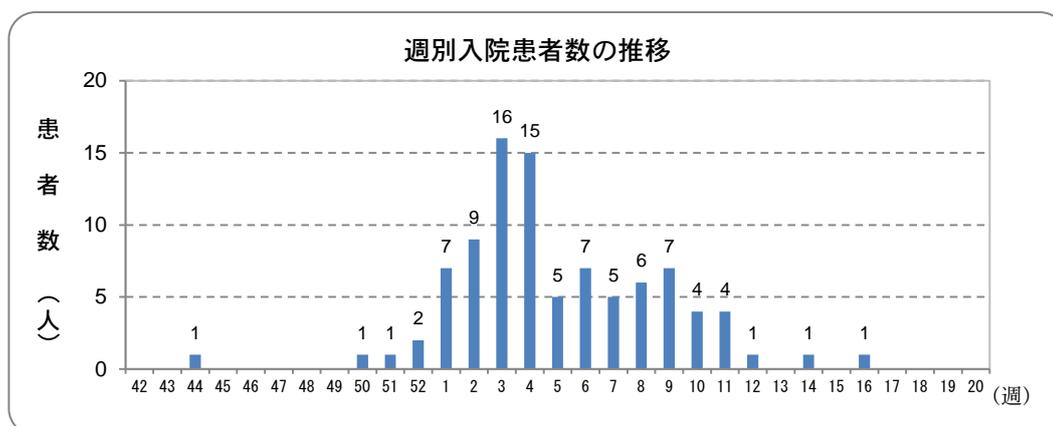
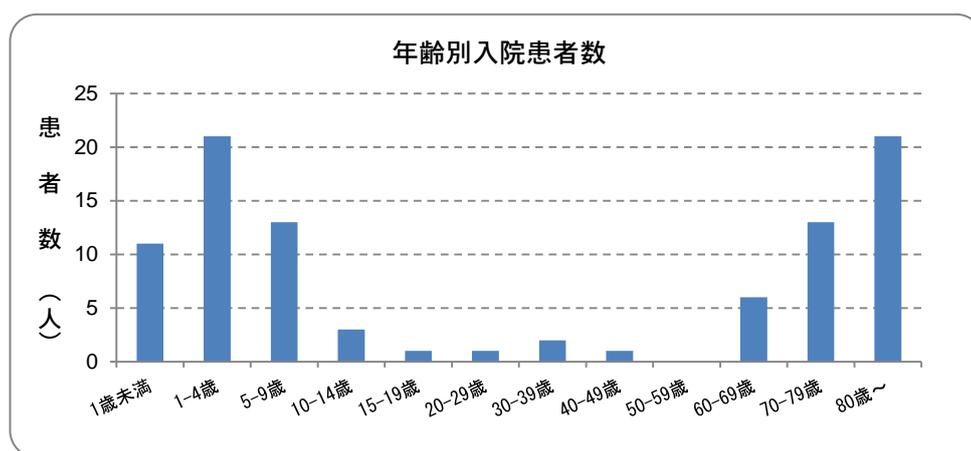
5. 入院時の状況と年齢別内訳(県内基幹定点 5 医療機関による報告)

今シーズンにおけるインフルエンザによる入院患者数は 93 名であり、4 歳以下の幼児 (34%) と、70 歳以上の高齢者 (37%) が多くを占めました。

週別では、流行のピークになった第 3~4 週に、入院患者数が最も増加しました。

【2011/2012 年シーズンにインフルエンザにより入院した患者数】

年齢	1 歳未満	1~4 歳	5~9 歳	10~14 歳	15~19 歳	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70~79 歳	80 歳以上	計*
入院患者数	11	21	13	3	1	1	2	1		6	13	21	93
ICU 入室										1	2		3
人工呼吸器の利用											1		1
頭部 CT 検査 (予定含)	1	7	4	1	1						4	2	20
頭部 MRI 検査 (予定含)	1	3									3	1	8
脳波検査 (予定含)	1	6	1								3	1	12
いずれにも該当せず	10	12	9	2		1	2	1		5	7	19	68



保健所別報告患者数 2012年 22週 (2012/05/28～2012/06/03)

2012年6月6日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	5	0.06	-	-	4	0.25	-	-	1	0.08	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	3	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.50
咽頭結膜熱	18	0.33	13	0.93	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	3	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	71	1.31	22	1.57	22	2.00	4	0.40	3	0.43	1	0.25	-	-	19	3.17
感染性胃腸炎	480	8.89	115	8.21	107	9.73	136	13.60	27	3.86	21	5.25	16	8.00	58	9.67
水痘	89	1.65	23	1.64	26	2.36	11	1.10	11	1.57	7	1.75	2	1.00	9	1.50
手足口病	11	0.20	5	0.36	4	0.36	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	12	0.22	6	0.43	1	0.09	-	-	1	0.14	4	1.00	-	-	-	-
突発性発疹	35	0.65	20	1.43	5	0.45	4	0.40	2	0.29	-	-	-	-	4	0.67
百日咳	2	0.04	-	-	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	0.06	1	0.07	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	29	0.54	10	0.71	8	0.73	2	0.20	6	0.86	-	-	-	-	3	0.50
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	0.50	3	0.60	3	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	4	0.80	-	-	1	1.00	-	-	-	-	3	3.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2012年 22週 (2012/05/28～2012/06/03)

2012年6月6日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	5	0.06	-	-	4	0.25	-	-	1	0.08	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	18	0.33	13	0.93	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	3	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	71	1.31	22	1.57	22	2.00	4	0.40	3	0.43	1	0.25	-	-	19	3.17
感染性胃腸炎	480	8.89	115	8.21	107	9.73	136	13.60	27	3.86	21	5.25	16	8.00	58	9.67
水痘	89	1.65	23	1.64	26	2.36	11	1.10	11	1.57	7	1.75	2	1.00	9	1.50
手足口病	11	0.20	5	0.36	4	0.36	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	12	0.22	6	0.43	1	0.09	-	-	1	0.14	4	1.00	-	-	-	-
百日咳	2	0.04	-	-	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	0.06	1	0.07	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	29	0.54	10	0.71	8	0.73	2	0.20	6	0.86	-	-	-	-	3	0.50
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	0.50	3	0.60	3	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2 を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2012年 第22週 2012/05/28～2012/06/03)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ	5	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	3	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	18	-	5	4	2	3	1	2	-	-	-	-	-	-	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	71	-	-	1	3	9	7	14	5	12	6	4	10	-	-
感染性胃腸炎	480	8	34	88	45	46	32	46	25	27	21	13	48	9	38
水痘	89	1	5	14	23	17	6	5	5	6	2	2	3	-	-
手足口病	11	1	2	2	2	-	1	2	-	-	-	-	1	-	-
伝染性紅斑	12	-	-	3	2	-	1	-	3	1	1	-	-	-	1
突発性発疹	35	2	15	17	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ヘルパンギーナ	3	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	29	-	-	1	1	2	5	5	6	3	3	1	2	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	3	-	1	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	4	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

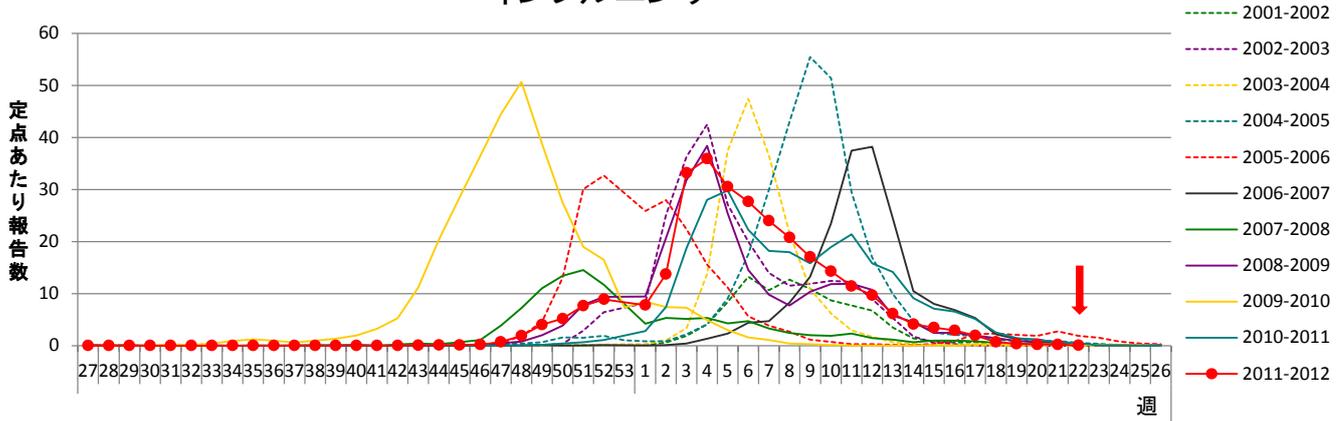
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

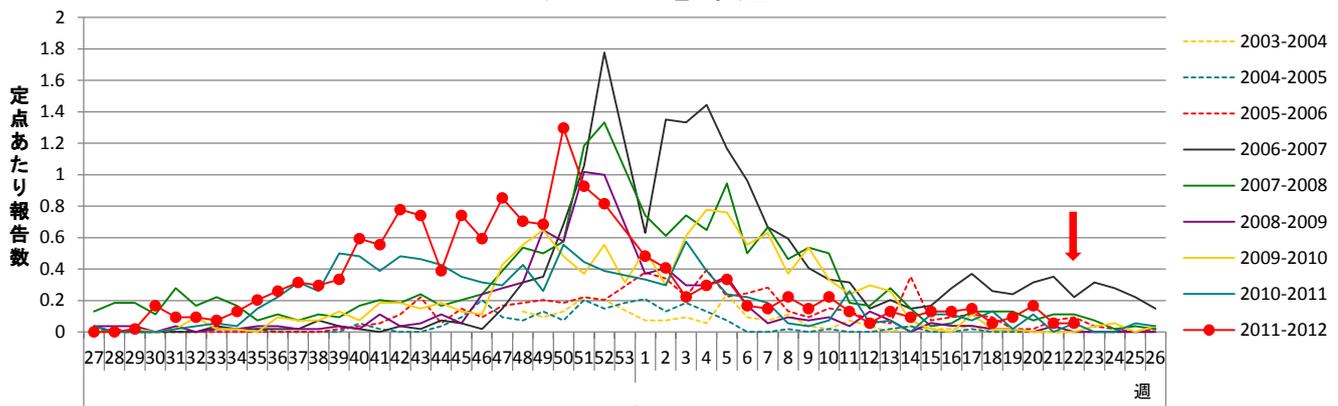
2012年 22週

分類	疾病名	2012			疾病名	2012			疾病名	2012		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	18	177	557	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	1	腸管出血性大腸菌感染症	-	4	67
	腸チフス	-	1	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	1	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	1	3
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	-	3	デング熱	-	-	-	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	3	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	-	1
	マラリア	-	-	-	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	8	37	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	2	7	11	ウイルス性肝炎*3	-	3	9	急性脳炎*4	-	1	3
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
	後天性免疫不全症候群	-	6	15	ジアルジア症	-	1	2	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	2	9	破傷風	-	-	3
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	1	-	風しん	-	-	1
	麻しん	-	5	4		-	-	-		-	-	-

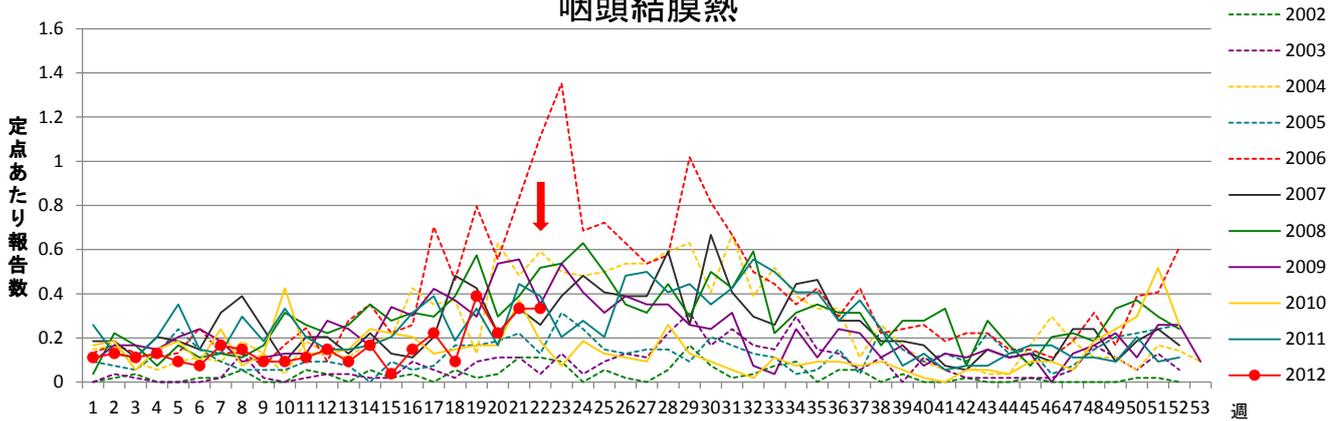
インフルエンザ



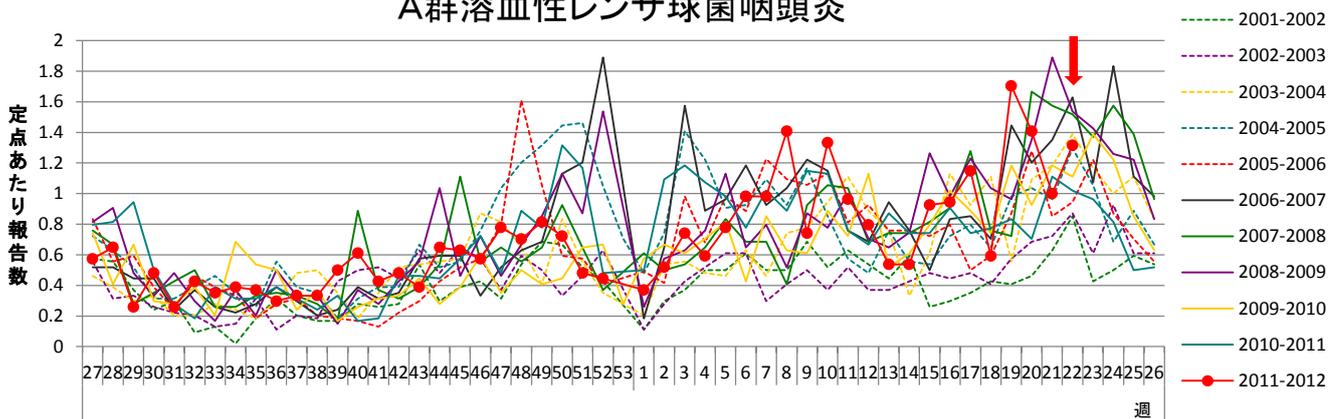
RSウイルス感染症



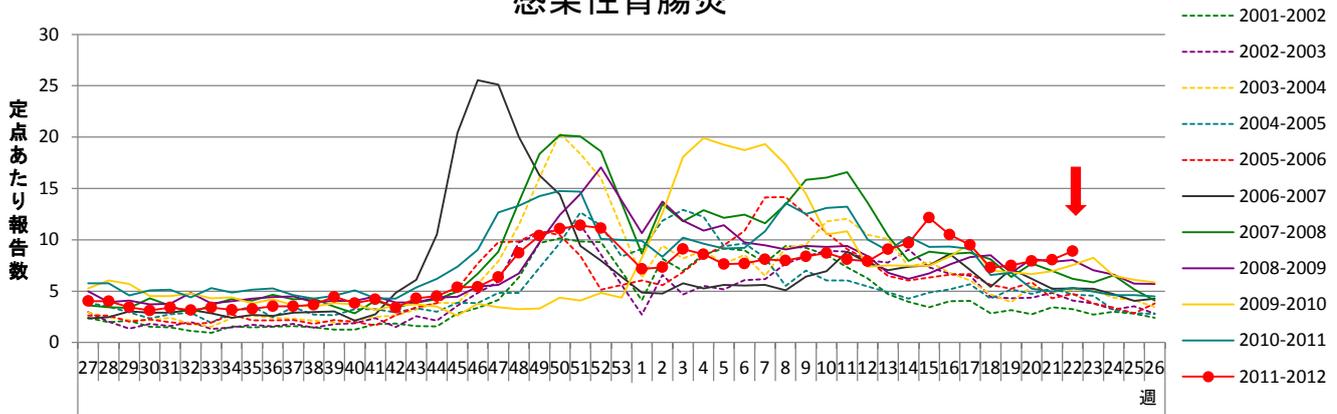
咽頭結膜熱



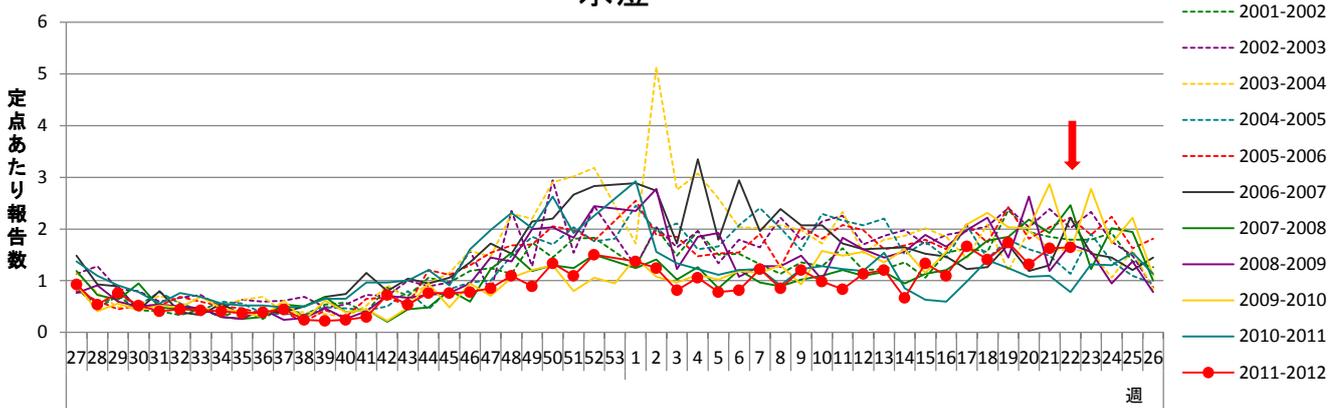
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



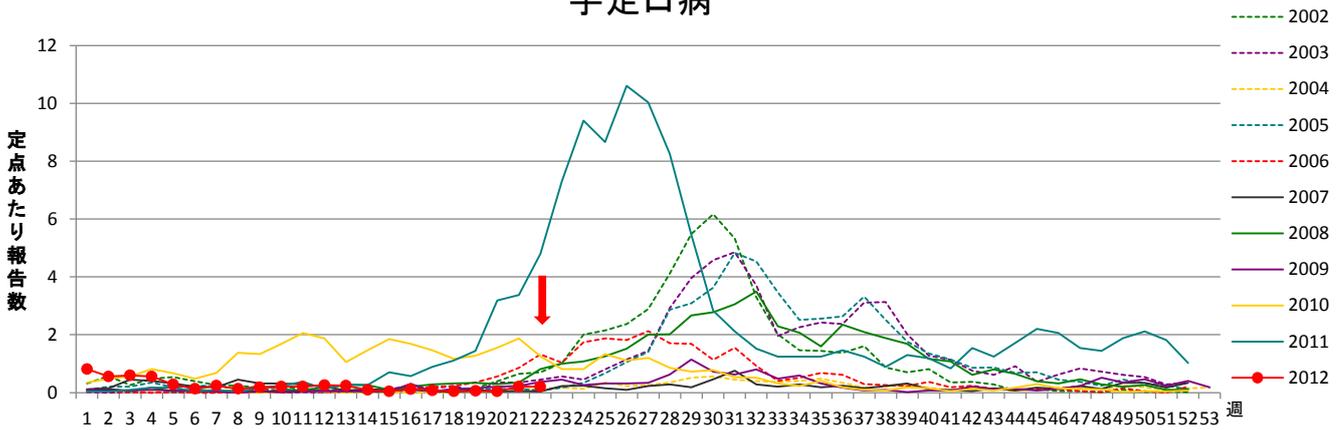
感染性胃腸炎



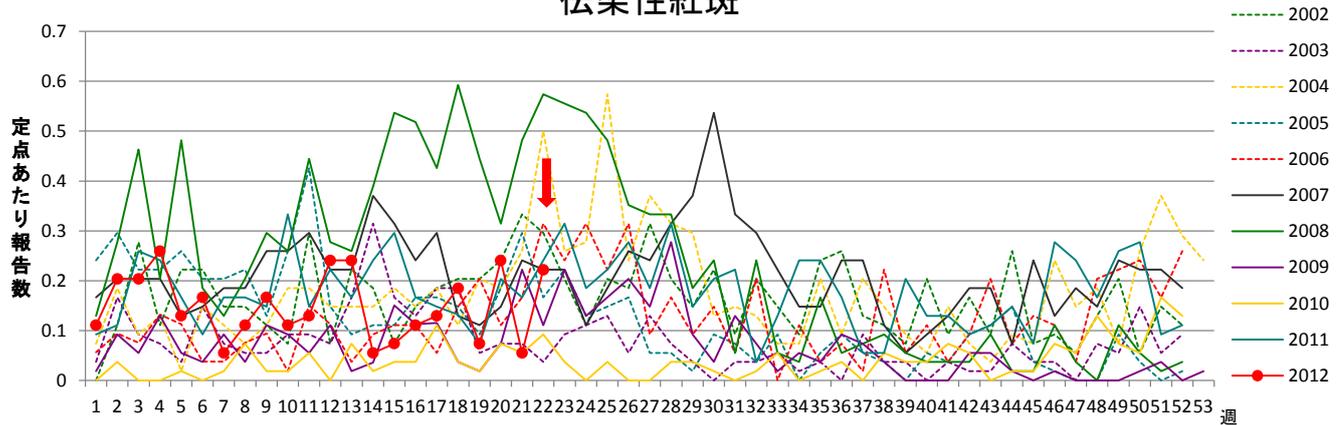
水痘



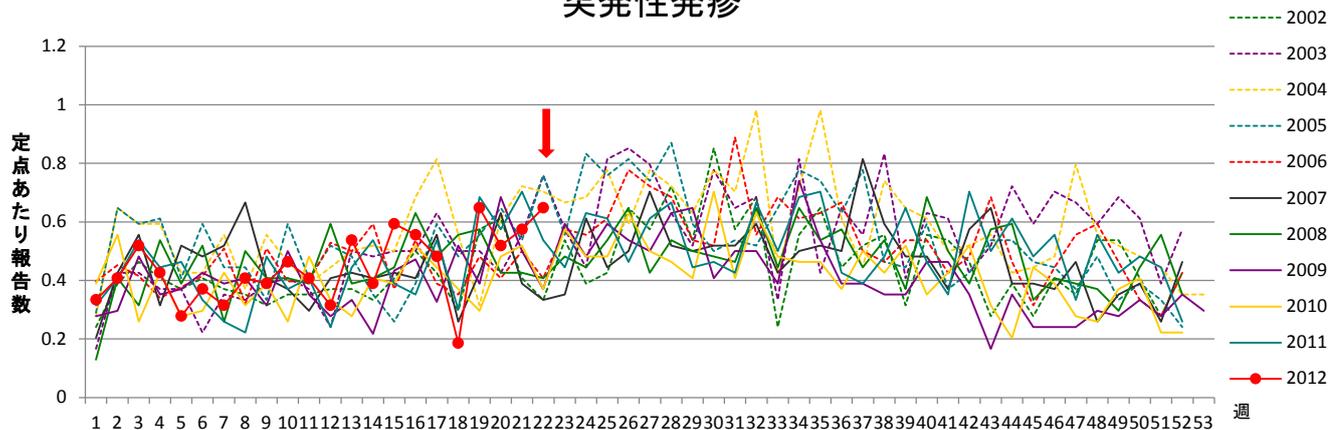
手足口病



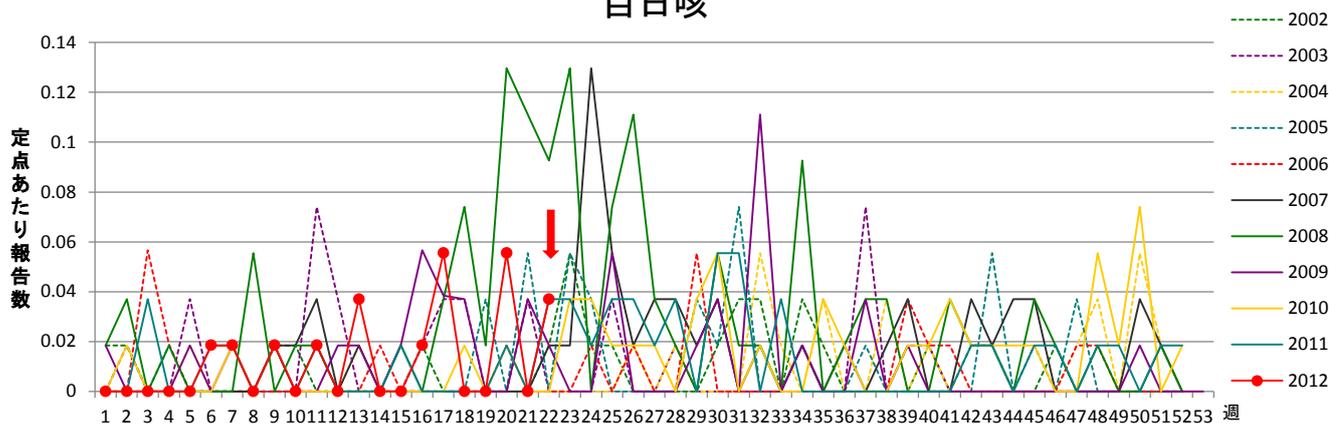
伝染性紅斑



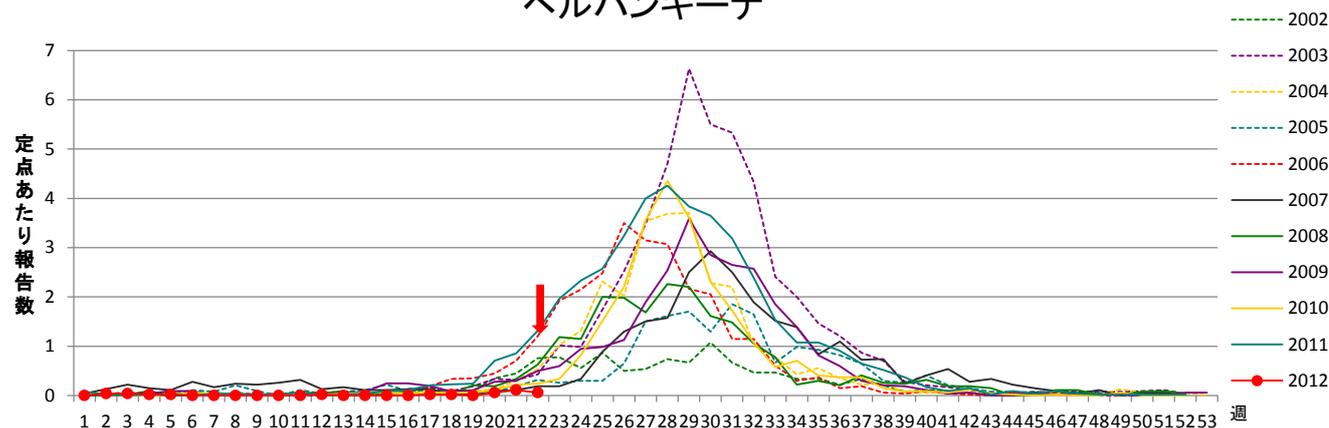
突発性発疹



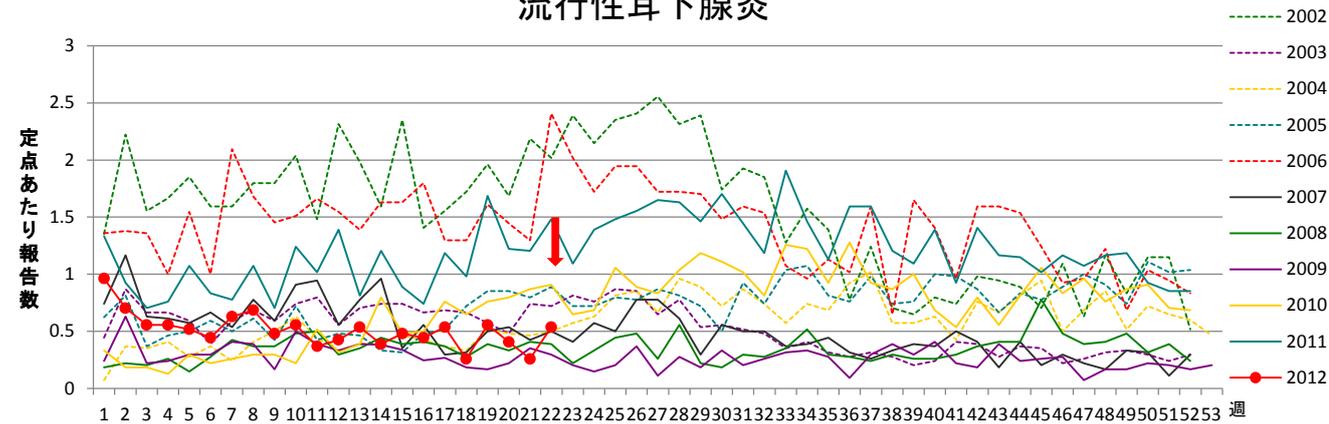
百日咳



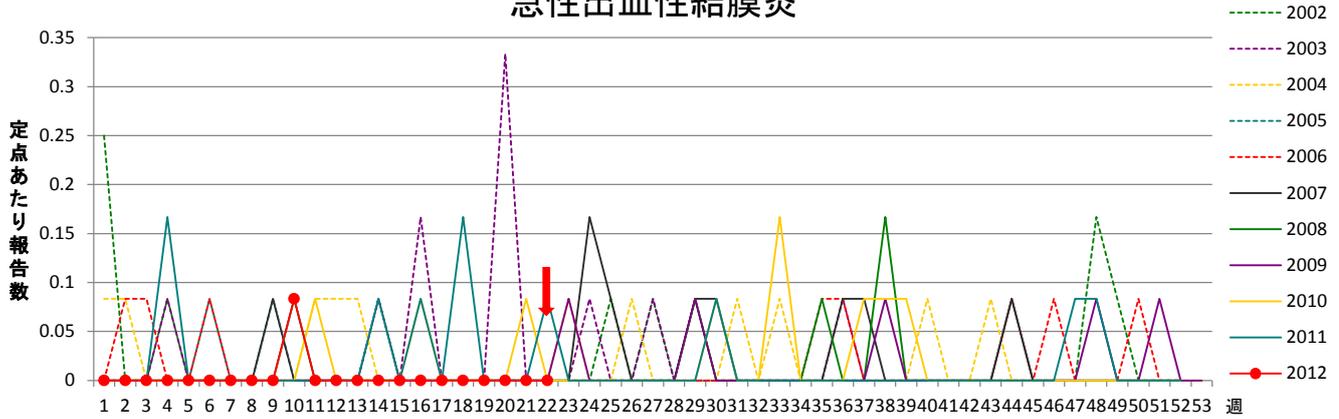
ヘルパンギーナ



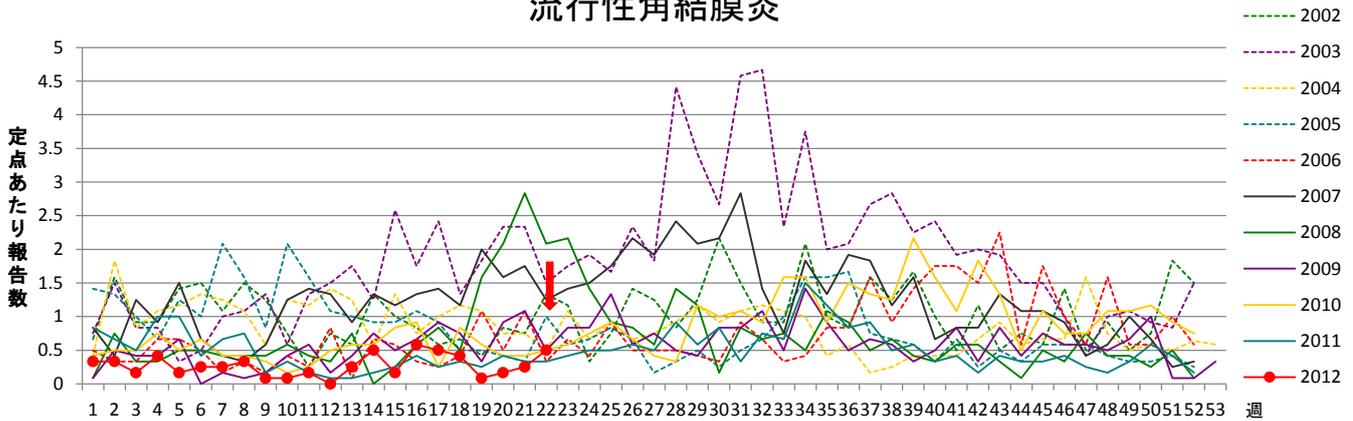
流行性耳下腺炎



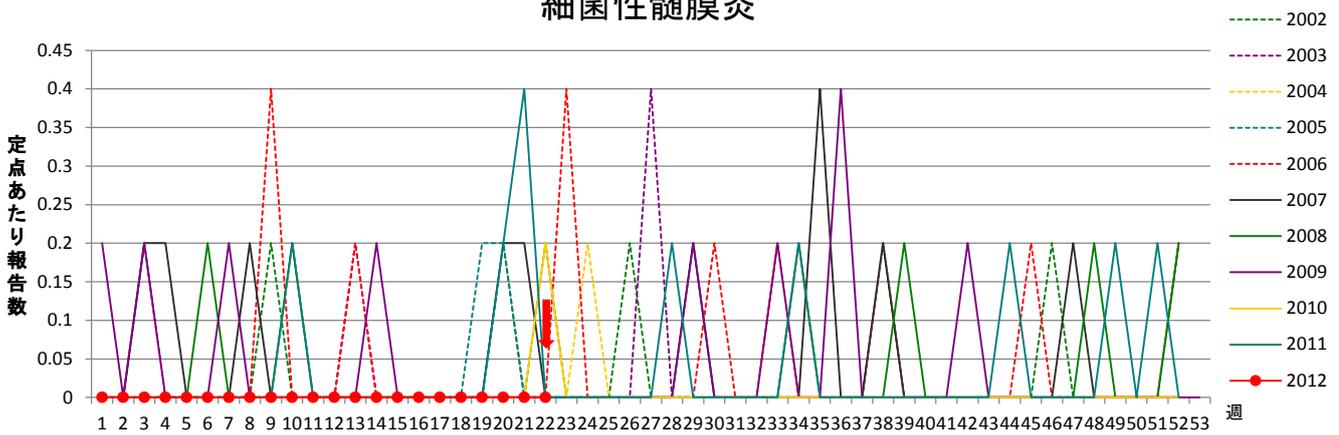
急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎



細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎

